



第41号2016年多摩

俊風会
NEWS

おおさか維新の会
伊藤しゅんすけ
Shunsuke Ito

〒194-0021 町田市中町 2-6-11 サワダビル3F
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935
〒206-0002 多摩市一ノ宮 4-1-1 N2ビル 2F
TEL 042-375-5500 FAX 042-375-3873

Homepage <http://www.i-shunsuke.com>
Mail officeshunsuke2012@gmail.com
Twitter http://twitter.com/shunsuke_ishin
FB <http://www.facebook.com/shunsuke.ishin>

増税で財政再建した国はない！

3年前、民主・自民・公明の3党で消費増税を安易に決めたことで、個人消費は減り、雇用も非正規雇用が増え、結果として国民の暮らしは格差が広がっています。「維新」は一貫して増税の前に「身を切る改革」をすべきと主張してきました。日本の構造的赤字体質を改革するには、他党ができない、政治家や公務員の身を切る覚悟が必要です。「維新」は、大阪で政治家や公務員が身を切り、11年連続赤字だった大阪を僅か4年で黒字にしました。いま、民進でも自民でも公明でもない「維新」だけが納税者の立場からこの国を変えられる唯一の政党です。



左記QRコード
からHPへ！



☆大阪はどんな身を切る改革をしてきたか☆

- ① 市長報酬 42%カット、退職金はゼロ
- ② 知事報酬30%カット、退職金80%カット
- ③ 府議会定数 20%削減、府議報酬 30%カット
- ④ 市の職員 30%削減(6152人削減)
- ⑤ 赤字だった市バス運転手給与 960 万円を引下げ等単年度26億の赤字を→10億黒字に。
- ⑥ 天降り先だった外部団体を 72 団体→18 団体
- ⑦ 競争性のない随意契約を一掃
- ⑧ 決算ベースで黒字財政を実現 等々



☆おおさか維新の会は、今！☆

- ① 維新所属の全国会議員の歳費2割を熊本地震支援へ。地方議員も同様に準備中。
- ② 企業・団体献金の(廃止)禁止を実行中！(未だに自民も民主も止められない甘えの構造)
- ③ 国会議員1人あたり歳費の他に、年間 1200 万円の文書通信交通滞在費(領収書なし報告なし税金なし)維新だけが使途公開を実行中！

☆おおさか維新の会主要政策☆

- ① 国民に増税負担を求める前に身を切る改革を実行！(いま消費税10%に上げるべきではない)
- ② 原発に依存せず新しい産業(再生エネ)で世界のリーダーに。最終処分地もない、安全でも安価でもない、原発再稼働には一貫して反対。
- ③ 明治以来140年、中央集権から地方分権へ。
- ④ 憲法改正で教育無償化・統治機構改革(道州制・首相公選制・衆参一院制) 憲法裁判所設置の実現

待機児童ゼロと幼児教育(保育園・幼稚園)の無償化は、必ず実現できる！

2050年には日本の人口が1億2800万人から9700万人に大きく減少する。高齢化率40%と少子高齢化が急速に進む中、いま子供の貧困率は過去最悪の16.3%で6人に1人が貧困、3人に1人は非正規雇用で内パート労働者の70%は女性です。現在、幼稚園の定員数は207万人ですが実際の在園数は、140万人です。ですから67万人は受け入れられる計算です。認定こども園などによって幼・保一元化の方向に進んではいませんが、政治が決断すれば待機児童は解決できるはずで

さらに先進国は、既に幼児教育の無償化が実現しています。日本でも幼児教育の無償化を実現するのに7600億円必要と言われていています。いま東日本大震災で一時的に下げられていた国会議員の歳費は20%上がり、国家公務員(地方公務員除く)も約4000億円上がり、議員定数も減らせられない。国会議員や公務員が身を切れば財源は必ず捻出できます。「おおさか維新の会」は、身を切る改革で幼児教育無償化など未来を創る政策に大切な財源を使わせて頂きます。

現行の年金制度は破綻している＝私達は積立方式を提案しています。

人口が増え続ける時代に作った年金(賦課方式)制度は、少子高齢化時代には対応出来ず、すでに破綻しているといっても過言ではありません。今、30代の方々は、納める年金よりも、受給される年金は、マイナス1700万円に、20代の方々は、マイナス2400万円になると言われます。



介護浪人のない将来の安心のために。

介護離職者は10万人を超え、介護浪人は50万人ともいわれています。全産業の平均賃金は約33万円ですが、介護従事者は24万円、ホームヘルパー22万円と平均賃金の水準は低く勤続年数も短い傾向にあります。いま、運よく特養に入れたとしても、負担額は、7万～10万円は必要になります。スウェーデンのように税による最低年金保証制度も大いに参考になります。年金を払えない、払わない方々にとっては生活保護ということになってしまいます。年々、生活保護受給者が増え約216万人になっております。多くの問題(負担)は、若い世代に先送りされています。そのためにも前述したように現在の年金制度を持続可能な積立方式に1日も早くかえることこそ大切です。

なんとなく自民党に任せていればいい時代は終わった！

「安保法制」や「原発再稼働」などをみても、体を張って止める信念のある政治家はいなくなりました。「原発」は、未だ最終処分場も方法も決められず、安全でもなく安価でもない、新たな安全神話を作り出しただけです。原発が一度ゼロになった今、原発に依存せず、再生可能エネルギー(ドイツ 20%に対し日本は僅かに 2.2%)や民間の技術で新しい産業を育てて、世界の環境のリーダーになる日本を創造するべきです。人類の新しい文明への挑戦です。

また、「安保法制」も、まずは憲法の範囲内で日本の領空・領域・領土を守る現実的な法整備が必要です。また集団的自衛権の行使など含めた憲法改正の議論を正々堂々とすべきです。

引き続き、間違った紛争や戦争に巻き込まれないように声を上げて参ります。

- ・1979年8月5日 町田市生 町田市在住
- ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒
- ・中国北京大学留学
- ・中央大学経済学部国際経済学科卒業
- ・会社起業経営 ・維新政治塾一期生卒

伊藤しゅんすけプロフィール

第46回衆議院議員選挙に立候補 東京比例次点。
第47回衆議院議員選挙に立候補 (50, 836票) 東京比例次点。
再び挑戦を続ける！

皆様のお声を是非お聞かせください。返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL: